

新庁舎建設だより 10

知覧庁舎跡地利活用ワークショップを開催しました。



「新庁舎移転後の現知覧庁舎をどう活用していくか」について、活用方法のアイディアを出し合うワークショップを開催しました。

周辺地域の皆さまに鹿児島大学（包括連携協定による地域課題の解決支援）の学生が加わり、両日とも約 50 人の参加があり、たくさんの貴重なご意見をいただきました。

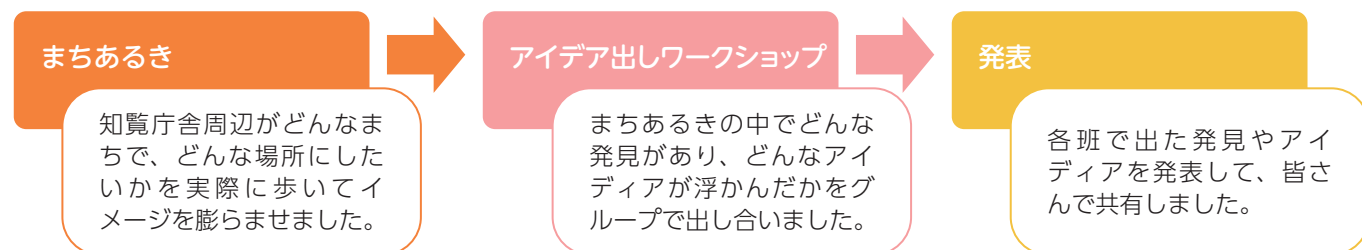
ワークショップで出たアイディアは、知覧庁舎跡地利活用検討会内で活用方法案として活かされます。

ワークショップの内容について

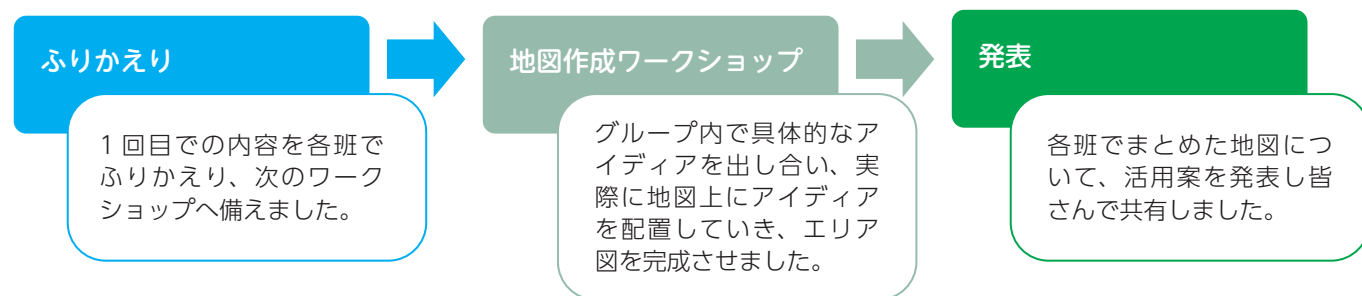
今回のワークショップは、6つの視点で8つの班に別れ、各班にはそれぞれの目線に立って利活用方法の検討をしていただきました。



●第1回 11月17日（日曜日） 夢郷館多目的ホール



●第2回 12月1日（日曜日） 夢郷館多目的ホール



●ワークショップの様子



全体説明の様子。どのような進め方をするのか皆さん真剣に耳を傾けていました。



学生さんに各班のワークショップ進行役を務めていただきました。



アイディア出しが熱を帯びてきて、全員立ち上がって意見を出し合う場面もありました。



たくさんのアイディアでどの班も地図が付箋でいっぱいになりました。

●ワークショップのまとめについて

(①②こども、③④子育て世代、⑤シニア、⑥働く人、⑦移住者、⑧観光客)

各班、知覧庁舎周辺の地図にアイディアを配置していき、知覧庁舎周辺エリアの活用案を作成しました。広報紙では、例として①こども班と⑧観光客班のアイディアをご紹介します。

その他の班については、ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

↑他の班についてはこちらからご覧いただけます。



※こちらは、ワークショップで出たアイディアを各班でまとめた内容です。知覧庁舎跡地の利活用方法を決定したものではありません。

ワークショップに参加された地元の皆さまから地域への強い思いが感じられ、充実した時間となりました。貴重なアイディアを「どう実現していくか」が大切です。今後も良い検討を重ね、進めていきたいと考えています。